

令和3年度長野市スポーツ推進審議会（第6回）会議録

日 時	令和4年1月14日（金） 午後2時00分～午後3時30分
会 場	長野市役所第一庁舎7階 第1・2委員会室
出席者	委員11名（欠席委員1名）、オブザーバー1名、事務局8名
次 第	<p>1 開 会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 議 事</p> <p>(1)第三次長野市スポーツ推進計画（案）に対する市民意見等の募集結果について 資料1</p> <p>(2)第三次長野市スポーツ推進計画（案）について資料2</p> <p>(3)答申書（案）について資料3</p> <p>(4)ホームタウンNAGANO まちづくり連携推進ビジョン（案）について 資料4</p> <p>(5)その他</p> <p>4 そ の 他</p> <p>5 閉 会</p>
議 事	<p>（議事進行 堀江会長）</p> <p><b>議事(1)：第三次長野市スポーツ推進計画（案）に対する市民意見等の募集結果について 及び</b></p> <p><b>議事(2)：第三次長野市スポーツ推進計画（案）について</b></p> <p>事務局より資料1、2について説明。以下質疑応答。</p> <p>F委員：市民意見等に対する修正案はどのように公表するのか。</p> <p>事務局：市ホームページ等で公表させていただく。</p> <p>F委員：対応区分3の意見等について、ホームページで公表したときに市民がどのように反応を示すのか。予測が立てば教えてほしい。</p> <p>事務局：今後5年間の計画期間中に事業を行うなかで参考にさせていただく。</p> <p>D委員：資料2 51頁の指標一覧は、目標値の単位をパーセントにすると、人口減少しても目標達成は可能だが、地域密着型プロスポーツチームのホームゲーム入場者数の目標値が人単位になっており、他の指標と比べて高い目標値になっているが、大丈夫なのか。</p>

事務局 : 資料4「ホームタウンNAGANO まちづくり連携推進ビジョン」は本市が地域密着型プロスポーツ4チームと連携して作成しているが、ビジョンの中でも同様の目標値を掲げており、各チームが目標に掲げるホームゲーム入場者数を積み上げた目標値を市とプロスポーツチームが互いに連携して達成していきたいと考えている。

D委員 : これからも地域密着型プロスポーツチームとの連携に期待している。

会 長 : 人口減少しても単位をパーセントで示せば目標達成も可能かと思うが、いかがか。

事務局 : 目標値 366,000 人に対し長野市民 367,000 人なので、市民ひとりが1回観戦していただければ達成可能だと考えている。

### **議事(3) : 答申案(案)について**

事務局より資料3について説明。質疑応答なし

### **議事(4) : ホームタウンNAGANO まちづくり連携推進ビジョン(案)について**

事務局より資料4について説明。以下質疑応答。

D委員 : 「Ⅲ. 目指す街の姿」のビジョンに(スポーツで「人」と「まち」のポジティブサイクルがまわる長野)とあるが、14頁「連携事業の方向性」のスポーツを「する・観る・つながる」の3要素の中にもポジティブサイクルを取り入れた仕組みを作してほしい。

事務局 : 参考にさせていただく。

F委員 : プロスポーツチームは観戦することがメインになるが、市民一人ひとりがこのビジョンのどこかに位置付く構成になっていければ良いと思う。

C委員 : 今回の計画で掲げる「スポーツを軸としたまちづくり」や「スポーツの力で未来をつくるまちNAGANO」などのスローガンを長野市民だけでなく長野市を訪れる人達に対しても広告の媒体などを利用して宣言しても良いと思う。長野駅から善光寺までの1.8kmある門前通りの左右にフラッグを立てるのもひとつの手法であり、御開帳開催にあたり、広くアピールする絶好の機会だ。こうした見える化を推進することで、市民のモチベー

	<p>ションは上がり、スポーツに対する関心が高まる可能性がある。まちづくりを考えたときに、そうした見える化を推進する方策が必要であることを提案させていただく。</p>
事務局	<p>：今回初めて、市と地域密着型プロスポーツ4チームが連携してビジョンを策定した。一番の目的は、市とプロスポーツ4チームが共通の目標を持つことであり、まちづくりの一端をプロスポーツチームに担っていただく。現在、ひとつのプロスポーツチームが、まちなかで行う具体的な事業を検討している。まちづくり連携推進ビジョンを策定することで、市とプロチームが連携して活動していることを市民に示したい。</p>
C委員	<p>：今回、知名度の高いスポーツ選手が市長に就任された。荻原市長には前面に立ってもらい、長野市がスポーツを推進していくことをアピールしてもらいたい。</p>
H委員	<p>：ソフトテニスの活動をしているが、活動場所の確保が大きな課題である。3月から長野市施設案内予約システムの抽選予約が2か月毎から毎月になり、団体でも会員に周知する負担が増えてしまう。変更した理由を教えてください。</p>
事務局	<p>：現行の予約システムが1月で契約終了することに伴い、これまで市のサーバーを利用していたが、2月から標準のクラウドサービスを利用することになる。これまで市独自のカスタマイズにより、2か月毎に抽選予約を行っていたが、クラウド化で標準システムになると、毎月の抽選予約しかできなくなる。カスタマイズには大きく経費が掛かり、標準化することで経費削減できるのでご理解いただきたい。</p>
H委員	<p>：現行システムは画面に施設案内が表記されているが、そのまま継続されるのか。</p>
事務局	<p>：内容は変わらない。</p>
H委員	<p>：市民がスポーツをするには施設の確保が一番重要なので、詳しく周知してほしい。</p>
D委員	<p>：長野市で日本障害者スポーツ学会が開催されたが、その中で松本山雅が松本盲学校にブラインドサッカー指導で訪問したとの発表があり、これをきっかけに総合型地域スポーツクラブを立ち上げようかとの意見もあった。AC長野パルセイロでも障害者スポーツのブラインドサッカーを通じて長</p>

野盲学校との交流ができれば良い。プロスポーツチームで総合型地域スポーツクラブを運営してみても、との意見もあったので、参考にさせていただきたい。

事務局：本市でも総合型地域スポーツクラブの創設には賛成なので、何らかの支援・協力をしていきたい。

**議事(5)：その他**

オブザーバー：長野県でも来年度、第三次スポーツ推進計画を策定する。長野市スポーツ推進審議会に参加させていただき、委員の皆様からの貴重なご意見を参考にさせていただく。令和10年に長野県で国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会が開催されるが、選手の雇用が直近の課題になっている。国民スポーツ大会等が開催された自治体に視察に行くと、天皇杯や皇后杯、総合選手を目指すために250人から300人の選手雇用が必要とのことである。以前から依頼させていただいているが、長野県のスポーツ振興のために、選手や指導者の雇用について協力をお願いしたい。

文化スポーツ振興部長挨拶

以上